

創設期

(昭和58年～平成2年)

～福祉事業への胎動から地域への初歩

昭和58年	4月10日	社会福祉法人札親会設立準備委員会が発足
昭和60年	8月6日	札幌市に「札北荘」施設整備国庫補助金交付申請書を提出
	12月13日	社会福祉法人札親会設立認可申請書を札幌市に提出
昭和61年	3月6日	厚生大臣より、社会福祉法人札親会設立の認可
	3月22日	社会福祉法人札親会の設立
	7月1日	知的障がい者更生施設「札北荘」(入所30名・通所20名)開設
昭和62年	9月17日	日本自転車振興会に「札北荘・地域交流ホーム」補助金交付要望書を提出
昭和63年	4月1日	札北荘(通所)定員15名増員し、定員35名とする
平成元年	4月1日	札北荘(入所)定員10名、札北荘(通所)定員5名を増員し、入所定員・通所定員を40名とする
		グループホーム「あじさい」(定員4名)の運営開始(制度化開始)

成長期

(平成3年～平成12年)

～多様なニーズに応える施設整備を進め、
 支援技術の追求

平成3年	4月1日	知的障がい者更生施設「つきがた友朋の丘」(定員50名)開設 グループホーム「のぼら」(定員4名)の運営開始
平成4年	4月1日	札幌市の委託により、知的障がい者福祉工場「札幌市社会自立センター」(定員30名)の運営開始
平成5年	4月1日	グループホーム「ひまわり」(定員4名)の運営開始
	9月1日	札幌市より建物の無償貸与により、知的障がい者授産施設(通所)「菊水ワークセンター」(定員25名)開設
平成6年	4月1日	知的障がい者更生施設(通所)「白石かがやき園」(定員40名)開設
平成8年	4月1日	「菊水ワークセンター・分場ライラック」(定員19名)及びグループホーム「コスモス」(定員4名)の運営開始
平成9年	4月1日	「つきがた友朋の丘」の定員を4名増員し定員54名とする
平成10年	10月1日	グループホーム「たんぼぼ」(定員4名)の運営開始
平成11年	4月1日	月形町の委託を受け、保育所「月形町花の里保育園」(定員45名)の運営開始
平成12年	4月1日	札北荘(通所)「分場・来夢」(定員8名)及び白石かがやき園「分場・こもれび」(定員9名)の運営開始

成熟期

(平成13年～平成17年)

～施設福祉から地域福祉への推進

平成13年	4月 1日	菊水ワークセンター「分場・スズラン」(定員12名)の運営開始 「白石かがやき園」の定員を8名増員し、定員48名とする
	10月 1日	グループホーム「すざらん」(定員5名)の運営開始
平成14年	4月 1日	札北荘(通所)「分場・未来」(定員10名)の運営開始
	10月 1日	グループホーム「アカシア」(定員4名)の運営開始
平成15年	12月 1日	グループホーム「サクラ」(定員5名)の運営開始
平成16年	2月29日	「菊水ワークセンター」竣工
平成16年	4月 1日	「菊水ワークセンター」新築工事により、定員10名増員し、 定員35名としてリニューアルスタートする
平成17年	1月 1日	居宅介護事業所「ライフサポートあんりー」の運営開始
	2月 1日	つきがた友朋の丘・分場「昭栄の里」(定員10名)及びグループホーム 「大樹」(定員5名)の運営開始 「つきがた友朋の丘」の定員を4名減員し定員50名とする
	3月 1日	グループホーム「陽だまり」(定員4名)の運営開始
	4月 1日	札北荘(通所)「分場・来夢」の定員を8名増員し、定員16名とする
	10月 1日	札北荘(通所)「分場・来夢」の定員を8名増員し、定員16名とする
	10月 1日	グループホーム「あぶる」(定員4名)の運営開始

充実期

(平成18年～平成27年)

～福祉サービスの向上を目指す為

新しい事業体系の移行を図る

平成18年	10月 1日	障がい者自立支援法の全面施行により、札北荘(通所)・菊水ワークセンター・白石かがやき園の短期入所事業(日帰り型)を札幌市日中一時支援事業に移行 グループホームの事業を一体型事業所(あじさい・のぼら・ひまわり・大樹)として移行・再編 ライフサポートあんりーが「居宅介護」「行動援護」「重度訪問介護」「移動支援」に移行
平成24年	4月 1日	生活介護事業所「さつきたそう ゆめくる」(定員40名)の運営開始
平成21年	4月 1日	障がい者支援施設つきがた友朋の丘が入所定員10名減員し、(定員40名)に移行 つきがた友朋の丘・分場「昭栄の里」が、多機能型事業所の就労移行支援事業(定員10名)と就労継続支援事業B型(定員14名)となる グループホーム「ゆう樹」(定員4名)「風樹」(定員5名)の運営開始
平成22年	4月 1日	札北荘(入所)が障がい者支援施設(定員30名)となる 札北荘(通所)が多機能型事業所の生活介護事業(定員40名)と就労継続支援事業B型(定員10名)となる
	11月 1日	グループホーム「アカシア」が北区屯田に移転し、定員を6名増員し定員

10名で運営開始

平成23年	4月 1日	「ミモザ」と「陽だまり」を定員10名のグループホームとして運営開始 「昭栄の里」が、就労移行支援事業を廃止し、就労継続支援事業A型のワークサポート「いぶ樹」（定員10名）就労継続支援事業B型のワークサポート「昭栄の里」（定員10名）として運営開始
平成24年	3月 1日	菊水ワークセンター（本体）が生活介護事業所（定員40名）分場「ライラック」（定員22名）と分場「スズラン」（定員18名）の就労継続支援事業B型の多機能型事業所に移行となる
	4月 1日	札北荘（通所）の生活介護の定員を20名増員し、定員60名とする グループホーム「たんぼぼ」を豊平区から白石区に新築移転、定員を6名増員し定員10名とする。
	12月20日	グループホーム「陽だまり」に基盤整備事業補助金によりスプリンクラー設備を整備
平成25年	11月15日	生活介護事業所「ゆめきた」（定員20名）・グループホーム「ウイズ」（定員10名）運営開始
平成26年	4月 1日	グループホーム「ピース」「さくら」（定員各10名）運営開始。 菊水ワークセンター「就労移行支援事業」（定員6名）開始。それに伴い、「就労継続支援事業・B型」の定員を6名減員し、定員34名とする
	5月31日	ワークサポート昭栄の里（定員20名）の事業廃止
	6月 1日	ワークサポートいぶ樹が生活介護定員10名・就労継続支援B型定員10名の多機能型事業所として運営開始
平成27年	7月 1日	日本財団助成金によりつきがた友朋の丘園舎の改築工事着工
	10月 7日	つきがた友朋の丘園舎の改築工事 竣工

変革期

（平成28年～）～社会福祉法人に求められる社会貢献への体制整備

平成28年	4月 1日	月形町の委託により、月形町花の里保育園の事業を廃止し、月形町認定こども園花の里こども園（定員80名）の事業を開始
平成29年	9月 4日	国庫・札幌市補助金により、札北荘正面玄関改修工事 着工
	12月20日	札北荘正面玄関改修工事 竣工
平成30年	8月31日	札幌市に平成31年度障がい者グループホーム新築整備事業協議書を提出
	12月20日	札幌市に平成31年度グループホーム整備予定事業として採択の通知受理
令和 元年	5月31日	グループホーム「ゆう樹」閉鎖
	6月28日	札幌市より令和元年度民間社会福祉施設等整備費補助金の内示
	8月28日	（仮称）菊水ワークセンター多機能型複合施設増築工事 着工
令和 2年	3月25日	菊水ワークセンター多機能型複合施設増築工事 竣工
	4月 1日	菊水ワークセンター多機能型複合施設として運営開始

- 4月 1日 生活介護事業所「さつきたそう ゆめくる」から生活介護事業所「ゆめくる」に事業所名変更
「ゆめくる」定員40名、「ゆめきた」定員20名がそれぞれの事業所として運営開始
- 5月 1日 短期入所事業所 りら（定員5名） 運営開始
- 11月30日 居宅介護事業所ライフサポートあんりー 事業休止（コロナ禍の影響により）
- 11月30日 グループホーム「風樹」閉鎖
- 12月31日 白石かがやき園短期入所事業 廃止
- 令和 3年 3月31日 月形町認定こども園花の里こども園の指定管理者 終了
- 5月 1日 こむ木・カフェ萌木閉店
- 4年 1月 1日 地域支援センターくれあ、分割となり「くれあ」定員30名「うらら」定員25名となる
- 3月31日 ワークサポート「いぶ樹」がつきがた友朋の丘への移行為閉鎖
- 4月 1日 グループホーム「すずらん」が移転